



Chiba Reimei High School

Recent Topics

- 2009年 工 学 部 鈴鹿4時間耐久 ソーラーカーレース **優勝**
秋田ワールドソーラーカー25時間ラリー **優勝**
- 空 手 道 部 インターハイ 男子個人形 **3位**
- 陸 上 競 技 部 インターハイ 女子100mハードル、
女子槍投げ出場
- 柔 道 部 関東大会初出場
- 男子ソフトテニス部 きらめき千葉県大会 **初優勝**
- 野 球 部 千葉県大会 **ベスト8**
- 美 術 部 全国高等学校総合文化祭参加
- 吹 奏 楽 部 東関東大会初出場
日本管楽合奏コンテスト(全国大会) **2年連続出場**
- 2008年 男子ソフトテニス部 インターハイ **2年連続**
アーチェリー部 インターハイ **12年連続出場**
陸 上 競 技 部 インターハイ6種目14名出場
国民体育大会女子100mハードル **準優勝**
- 英 語 愛 好 会 スピーチコンテスト印旛大会 **優勝**
千葉県大会出場
- 書 道 部 全国学生書道展 団体:**全国優勝** 個人:**大賞**
インターアクト同好会 ホスト校として年次大会を主催
- 2007年 男子ソフトテニス部 インターハイ **初出場**
アーチェリー部 インターハイ **11年連続出場**
写 真 部 千葉県高等学校芸術祭合同写真展 **入賞**
工 学 部 鈴鹿4時間耐久 ソーラーカーレース初出場 **9位**
女子ソフトボール部 千葉県私学大会 **準優勝**
関東私学大会出場

Reimeiを見に行こう!!

詳しくは、Webの検索サイトで、「千葉黎明」を入力して

Click

れい めい
千葉黎明高等学校

〒289-1115 千葉県八街市八街ほ625番地
TEL.043-443-3221(代表) FAX.043-443-3443
ホームページアドレス <http://www.reimei.ac.jp/>

黎明がお薦めする

50冊

れい めい
千葉黎明高等学校



学校法人 千葉黎明学園 理事長
西村 清

読書と私

「黎明がお薦めする50冊」
発刊にあたって

高校時代スポーツに熱中していた私にクラスメイトの一人から『恋をしろ、本を読め 青春』という寄せ書きを受け取りました。また、あるクラスメイトの自宅には私が見たことも読んだこともない哲学書や文学書が積まれておりました。私は、こうした刺激により少しずつ本を読むように、あるいは図書館に頻繁に足を運ぶようになりました。そして、大学を卒業し会社に入ると、大先輩から『本の読み方は、古典、ベストセラー、専門書をバランスよく読むように』と諭されました。一昨年より千葉経営者協会成田支部の皆さんと、二月に一度、「中国古典（孫子、孟子など）を声を出しながら読む勉強会」にて、やっとその先輩の言う古典も含めた本来の読書の在り方にたどり着いたように思います。

さて本校では安川前校長が「朝の五分間読書」を奨励し、同時に校内読書コンクールも一層盛んにされ、その後天野現校長もそれを引き継ぎました。そして、二代に渡る民間出身の校長は毎月、自身で選んだ図書に推薦文を付けて全校生徒に紹介してまいりました。今回は天野校長と図書部の先生方の推薦図書50冊分をまとめて小冊子に編纂し、発刊の運びとなりました。本校の読書を通じた教育活動を知っていただくと同時に、皆様方の何らかの知的生活のお手伝いや、知的な刺激にお役に立つのではないかと考えております。

「黎明がお薦めする50冊」については、本来の読書の対象が黎明高校生徒で内容が高校生向きであります。成人においても十分興味深いものも多くあると思います。学校長の視点も含めお楽しみ頂ければ幸いです。人間の知恵と勇気と経験をさらに深めるに、読書に勝るものはないと言われる。「強くしてなやかで進歩する黎明高校」であるように、この冊子が第二号第三号と続きながら本校の知的財産として後輩に伝わることを願います。

ごあいさつ	15	新しい自分に出会う本	15
もくじ	2	アシュリー	16
高校生の夢	3	手紙屋	16
ソニア	3	熱球	17
子どもに贈りたい130の言葉	4	マナー以前の社会人の基本	17
石田徹也遺作集	4	はじめての文学	18
生き方	5	上機嫌の作法	18
枯れ葉の言い分	5	そんな軽い命なら私に下さい	19
成長の法則	6	あきらめない限り、夢は続く	19
ドルフィンブルー フジもうちど宙へ	6	いい言葉が人生を変える	20
君と会えたから	7	脳を活かす勉強法	20
ランナー	7	えっ?本当?!地図に隠れた日本の謎	21
働く理由 99の名言に学ぶシゴト論	8	ひと言の思いやり	21
ユナイテッドアローズ 心に響くサービス	8	のぼうの城	22
カシオペアの丘で(上・下)	9	生きるのが楽しくなる15の習慣	22
心に太陽を 唇に歌を	9	走れ!T校バスケット部	23
女性の品格	10	奇跡のリンゴ	23
日本人のしきたり	10	トンネル	24
あのねのワルツ	11	暮らしうるおう江戸しぐさ	24
夢をかなえるゾウ	11	人間の関係	25
壁抜け男	12	心の持ち方	25
言語技術が日本のサッカーを変える	12	俺の考え	26
鏡の法則	13	全盲先生、泣いて笑っていっぱい生きる	26
イチロー262のメッセージ	13	凜とした女の子におなりなさい	27
ホームレス中学生	14	日本一短い手紙	27
手紙屋(堂雪編)	14	あとがき	28
犬と私の10の約束	15	沿革	29



07年4月

高校生の夢

校長
お薦め!

編：日本ドリームプロジェクト
出版社：いろは出版

全国47都道府県の47人の高校生の「夢」と「夢を持ったきっかけ」が分かりやすく書かれています。この本は、さまざまな分野で「夢」を持って、その「夢」に向かって努力している人の様子を伝えています。高校生において「夢」「目標」を持って過ごすことは、とても大切なことです。しかしながら自分の「夢」や「目標」を探しながらきっかけがなく見つけられずに困っている人も多いでしょう。そのようなみなさんにこの本をお奨めします。

ソニア

図書部
お薦め!

著者：葛西 馨子・洲上 サトリーノ
出版社：河出書房新社

黒いラブラドル・レトリバーのソニアと、娘のようにソニアをかわいがるお父さん。ふたりは雪が降っても、風が吹いても毎日2時間の散歩を欠かさず、いつも一緒でした。そんなある日お父さんが病に倒れ、ふたりに永遠の別れがやってきます。悲しみに暮れる家族とソニア。日を追うごとに黒くて美しい毛並みは、真っ白になってしまうのでした。すでに、テレビや雑誌で報道され、大きな話題を呼ぶ、奇跡の物語です。



07年4月



07年5月

子どもに贈りたい 130の言葉

校長
お薦め!

編：佐々木 勝男
出版社：民衆社

元気を与えてくれる本として「子どもに贈りたい130の言葉」を校長のお勧め本として紹介します。この本は、人々が経験を通して生み出してきた豊かな言葉の中から「生きる希望と勇気」の道しるべとして先生達を選んだものです。高校生活だけではなくその先の人生においてもきっと役に立つと思います。

石田徹也遺作集

著者：石田徹也
出版社：求龍堂

2005年、31歳の若さで急逝した石田徹也の作品集です。彼が10年間の創作期間で残した作品は、見るものの心にある種の衝撃を与え、いつまでも響き続ける力を持っています。活字とは異なるイメージの飛躍を体験して下さい。



07年5月



07年6月

生き方

校長
お薦め!

著者：稲盛 和夫

出版社：サンマーク出版

人生の生き方について書かれた本を紹介します。私たちは、高校生活、その先の人生においても、さまざまな選択や決断を求められます。人生のあらゆる場面において原理原則に立ち帰って発想、行動することの重要性を述べている京都セラミック設立者である稲盛和夫さんが書かれた『生き方』（人間として一番大切なこと）を校長のお勧め本として紹介します。この本は、挫折を繰り返しながら人間としてよりよく生きることへ懸命だった著者の生き方がとても分かりやすく説明されています。高校生活だけではなくその先の人生においてもきっと役に立つと思います。

枯れ葉の言い分

図書部
お薦め!

著者：渡辺 由香 出版社：文芸社

本校卒業生(平成13年3月卒業)が出版した本を紹介します。黎明高校の卒業生が本を出版するなんて多分初めてのことでしょ。5月の文芸社新刊：渡辺由香「枯れ葉の言い分」という詩集です。この本のメインテーマは「生きている命」です。若い皆さんは命に終わりがあるなんて想像もできないことかもしれませんが、その命と向き合っつてつくった詩集です。私は特に43頁の「ありがとう」に共感しました。なかなか厚い本だと敬遠されがちですが手軽な厚さで2時間くらいで読めると思うので是非書店や図書館で手にとって見てみてください。明日への活力が出てきますよ。また卒業生のこういった姿を見て夢は願いつれば叶うと実感し、我々も日々頑張っていくましよう。



07年6月



07年7月

成長の法則

校長
お薦め!

著者：ジェフ・ケラー 翻訳：弓場 隆

出版社：ディスカヴァー・トゥエンティワン

7月に入りました。期末試験が終わるといよいよ夏休みですね。3年生は就職や進学に向けてスパートする時期です。1、2年生も、次のステップへ向けた大事な時期です。9月になって後悔しないように、規則正しい生活を維持しましょう。今月はアメリカの講演家・著述家でおおぜいの人から絶大な支持を得ているジェフ・ケラー(日本語訳：弓場隆)の作品「成長の法則」を校長のお勧め本として紹介します。私たちは、夢の実現に向けて努力しても思うように進まなかったり、また、幸福になるためにはどう行動したらいいのかわからなくなることがあると思います。この本は、『幸せで充実した人生を送るための成功マニュアル』として、書かれたものです。短い文章の中に、とても大事なことが分かりやすく書かれています。皆さんが夢をかなえて幸せな人生を送るための参考になると思います。

ドルフィンブルー フジ、もういちど宙へ

図書部
お薦め!

著者：萩原 はるな

出版社：講談社

今月の推薦図書は、「ドルフィンブルー」です。病気によって尾びれを失ってしまったイルカの物語。生き続けることの意味を私たちに教えてくれると思います。是非、一度読んでほしいと思います。また、この作品はこの夏映画で公開されます。本を読むことが苦手な人は、映画を見に行きましよう。



07年7月



07年9月

君と会えたから……

校長
お薦め!

著者：喜多川 泰
出版社：ディスカヴァー・トゥエンティワン

長い夏休みが終わりました。終業式の訓話の中で、お願いした「自分探し」はどうでしたか。今月は、皆さんが生き方について考えるきっかけになればと思い、皆さんと同じ高校生が主人公である喜多川泰の小説『君と会えたから……』を校長のお勧め本として紹介します。この作品では、将来に対する漠とした不安を抱えながらも、自分のやるべきこともやりたいことも見つけられず、無気力に過ごしていた平凡な高校生がひと夏の体験をきっかけに素晴らしい人生を歩み出します。この作品は、『人生を自分にだけにしか出来ない素晴らしいものにする方法』を皆さんに教えてくれると思います。

ランナー

図書部
お薦め!

著者：あさの あつこ
出版社：幻冬舎

『バッテリー』の映画化で話題のあさのあつこさんの『ランナー』。タイトルから連想される通り、陸上部員として将来を囁望された主人公でしたが、妹の複雑な境遇を案じ部活の退部を決意します。しかしそれはたった一度の失敗で走ることから逃げたしまった自分への言い訳であることに気づき、再びスタートラインを目指そうとします。少年の焦燥と躍動する姿を描いた作品です。



07年9月



07年10月

働く理由

校長
お薦め!

99の名言に学ぶシゴト論。

著者：戸田 智弘
出版社：ディスカヴァー・トゥエンティワン

読書感想文ご苦労さまでした。読書の季節にもなりましたので、引き続き、興味をもった本から進んで読むようにしてください。3年生の皆さんは進学・就職が本格化しました。1、2年生の皆さんも知らないうちに進学・就職を考えなくてはならない時期がやってきます。今月は、皆さんが働くことについて考えるきっかけになればと思い、人生の先輩たちの99の仕事に関わる名言を集めた戸田智弘の『働く理由』を校長のお勧め本として紹介します。この本は、『人は何のために働くのか』『やりたいことは何だ』『才能って何だ』というようなことを、“人生の先輩たち”と心の中で対話しながら、皆さんに考えさせ教えてくれると思います。

ユニテッドアローズ 心に響くサービス

著者：丸木 伊参 出版社：日本経済新聞出版社

就職活動真っ只中の3年生、特に接客業に就く人(販売員)にぜひ読んでもらいたい本です。セレクトショップ「ユニテッドアローズ」(以下UA)(店舗数109店、年商587億円)はおしゃれに関心のある人なら「ああ、あの店ね」とうなずくはず。販売員の立ち居振る舞いがスマートで私の中でも高感度は高い。同書によれば、接客サービスのすばらしさは顧客をはじめ同業他社からも評価が高く、販売員コンテストでもUAがグランプリを獲得する。はたしてその理由は？ページをめくっていくと、ごくあたりまえ配慮と手間を抜かないスピリッツが社内に浸透している様子が伝わってきます。UAにはマニュアルブックが存在しないところも興味深い。近頃のショップの妙な節のついた「いらっしゃいませ～」をはじめ、マニュアルを理解、実践できているから大丈夫と思ったら大間違いだとこの本は教えてくれる。顧客の心をつかみ、感動の手紙があとを絶たないその具体的なサービスとは？

図書部
お薦め!

07年10月



07年11月

カシオペアの丘で(上・下)

校長
お勧め!

著者：重松 清 出版社：講談社

修学旅行、学園祭が終わりました。秋が深まってきたところで、いよいよ読書の季節たけなわです。今月は、4人の同級生の物語を通して『生と死』を問いかける、重松清の長編小説『カシオペアの丘で』(上・下)を校長のお勧め本として紹介します。著者は『生きることはゆるすゆるさないの繰り返し』であると述べていますが、この作品は、北海道の大自然を舞台にし、『生と死』や『人や自分をゆるす大切さ』などを皆さんに教えてくれると思います。私が時間を忘れて読み続け、感動した一冊です。

心に太陽を 唇に歌を

図書部
お勧め!

著者：藤原 正彦 出版社：世界文化社

2006年3月の「校長先生のおすすめ本」として紹介された『国家の品格』の著者、藤原正彦氏が現代の若者たちへ送る熱いメッセージ。それが今月の図書部からのおすすめ本『心に太陽を唇に歌を』です。この作品は、小学校4年生から卒業するまでの正彦少年の心の成長物語です。ガキ大将だった正彦少年が繰り返される、先生や友だちとのエピソード、家庭内で両親と話されたことなどを率直に記しています。「いじめによる自殺問題」や「ゆとり教育の見直し」など現代の子供たちを取り巻く社会には問題が山積しています。そんな社会の中で、君たち高校生がいかに生きてゆくべきか。藤原家の「五つの家訓」をヒントにはいかかでしょうか。とても平易で読みやすい、短編小説(55頁)ですので、是非読書週間に読んでみてください。



07年11月



07年12月

女性の品格

校長
お勧め!

著者：坂東 眞理子 出版社：PHP研究所
いよいよ今年も後1ヶ月となり、進学・就職・新しい学年が近づいてきます。今月は冬休みに入ることもあり、校長のお勧め本として新書を2冊紹介します。何れも、今年多くの人に読まれた本です。先ず1冊目ですが、坂東眞理子の著書『女性の品格』を紹介します。題名からすると女性向けの本を想像しますが、この本は男性にとっても大変役に立つ本です。進学・就職の面接時の大切なマナーにも通じる社会に出てからの基本的なマナーがわかりやすく書かれています。人間の品格とは何か、品格ある生き方とは何かについて考えるきっかけになります。

日本人のしきたり

校長
お勧め!編著：飯倉 晴武
出版社：青春出版社

2冊目は飯倉晴武の編著書『日本人のしきたり』を紹介します。年末年始は特に日本の伝統行事が多く行われますが、私達は意外にその歴史的な由来を知らずにを行っています。この本は、私たちの身の回りの「しきたり」について、わかりやすく書かれています。そして、それらの原点に触れることで、日本人の豊かな人生観を再発見するきっかけにして下さい。手元において、必要な時に読み直す辞書代わりとして利用するのも良いと思います。



07年12月



07年12月

図書部
お薦め!

あのねのワルツ

著者：野村 俊 出版社：文芸社

「あのねのワルツ」本校の前スクールカウンセラーの野村俊先生が出された本です。先生が勤務されていた幼稚園や小学校の幼い子どもたちとの日常の一コマを詩集としてまとめられたものです。その大切な思い出は「宝物」であり、そしてこの本は、その宝物を入れておく「宝宝箱」になっています。きっと心温まる思いになるはずですよ。

夢をかなえるゾウ

校長
お薦め!

著者：水野 敬也 出版社：飛鳥新社

明けましておめでとうございます。いよいよ新しい年が始まりました。進学・就職、新しい学年に向けてしっかり準備をして下さい。今月は、新しい年を迎え、新たな夢を抱いている人も多いと思います。そこで、皆さんの夢の実現のお手伝いができるかも知れない本として、水野敬也の著書『夢をかなえるゾウ』を校長のお勧め本として紹介します。この本は、めんどくさがり屋のサラリーマンである主人公が、一つひとつ課題をクリアしていく小説仕立ての自己啓発書です。自己啓発書というと硬い内容の本をイメージするかもしれませんが、「楽しみながら笑いながら夢をかなえる良い方法を教えてもらえる」内容になっています。皆さんが夢をかなえて幸せな人生を送るための参考になると思います。



08年1月



08年1月

図書部
お薦め!

壁抜け男

著者：マルセル・エイメ 翻訳：中村 真一郎
出版社：早川書房

冒頭の数行で日常の中の異界に引き込まれてしまう作品です。平凡な男がある日、自分の特別な才能に気がつきます。それは「壁を自由に通り抜けられる」ということでした…。フランスの異色作家マルセル・エイメの代表作で、幻想文学の傑作の1つです。

「言語技術」が日本のサッカーを変える

校長
お薦め!

著者：田嶋 幸三 出版社：光文社新書

一年を通じて最も寒い季節です。風邪などひかないように体調に注意して下さい。三年生はいよいよ後一ヶ月で卒業し、一・二年生は後二ヶ月で進級となります。進学・就職、新しい学年に向けてしっかり準備をして下さい。

さて、私は、三学期の始業式の訓話で、「読書の大切さ」について、お話ししました。そして、その中で読書することによって、自分で考える力、コミュニケーションする力がつくとお話ししました。今月は、このような力をつけることが、具体的にどのような役に立つのかをサッカーを通してわかりやすく説明している本として、田嶋幸三の著書『言語技術が日本のサッカーを変える』を校長のお勧め本として紹介します。この本は、題名からすると難しい内容の本と誤ってしまいかも知れませんが、サッカーを強くするためには、身体を鍛えるだけでなく、言語技術(自分で考える力、コミュニケーションする力等)が必要であるという大変興味深い内容となっています。読書がなぜ必要だと考えている人、サッカーやスポーツの好きな人、自分を変えたいと思っている人などは非一度読んで見て下さい。きっと自分を変えることができると思います。



08年2月



08年2月

鏡の法則

人生どんな問題も
解決する魔法のルール

図書館
お薦め!

著者：野口 嘉則

出版社：総合法令出版

「現実におきる出来事は、一つの『結果』です。『結果』には必ず『原因』があり、その原因は、あなたの心の中にあるのです。つまり、あなたの人生の現実、あなたの心を映し出した鏡だと思ってもらうといいと思います。」この言葉に共感した君、一読あれ!

夢をつかむ

イチロー262のメッセージ

校長
お薦め!

著者：夢をつかむイチロー262のメッセージ編集委員会
出版社：びあ

いよいよ後一ヶ月で進級となります。新しい学年に向けてしっかり準備をして下さい。

さて、私は、今まで人生において夢や目標を常に持ち続けることの大切さについて、お話ししてきました。しかし、私たちは、夢や目標を見つけたものの、夢や目標の実現に向けて努力しても思うよう実現できず、どう行動したらいいのかわからなくなることがあると思います。今月は、夢や目標を実現するためのヒントが込められている本として、夢をつかむイチロー262のメッセージ編集委員会の著書『イチロー262のメッセージ』を校長のお勧め本として紹介します。この本は、2001年から2004年の4年間における、メジャーリーガー・イチロー選手の各メディアでの発言を集め、構成・編集したメッセージ集です。

短時間で読める内容になっていますので、気楽に読んでみて下さい。皆さんがそれぞれの心に響くページと出会えることを願っています。



08年3月



08年3月

ホームレス中学生

図書館
お薦め!

著者：田村 裕

出版社：ワニブックス

話題作の「ホームレス中学生」を紹介いたします。長くなく文体も読みやすいのですぐ読めると思います。自分がいかに恵まれていたかという事実を認識し、周囲に感謝する機会を与えてくれる作品です。図書室にもありますので読んでみてください。

手紙屋 (蛍雪編)

校長
お薦め!

著者：喜多川 泰

出版社：ディスカヴァー・トゥエンティワン

新入生のみなさん入学おめでとうございませう。また2年生、3年生のみなさんも新しい年度が始まり、新たな気持ちでスタートラインに立っていることと思います。今月の校長のお勧め本は、進路に悩む女子高校生が主人公である喜多川泰の小説『手紙屋(蛍雪編)』を紹介いたします。この本では、皆さんと同じ高校生の主人公が、『何のために勉強するんだらう?!』という疑問から始まり、『将来の夢を見つける過程が、手紙屋とのやりとりの中で、とても分かりやすく書かれています。高校生活において、『勉強することの本当の意味を知ること』や『将来の夢を見つけること』は、とても大切なことです。しかし、勉強することの本当の意味が分からず、また将来の夢を見つけられずに悩んでいる人も多いと思います。そのような皆さんにこの本をお奨めします。私も、この本を読んで新しい発見をしました。



08年4月



08年4月

新しい自分に出会う本

著者：ジェリー・ミンチントン 翻訳：弓場 隆
 出版社：ディスカヴァー・トゥエンティワン
 新学期始業式、入学式から、早くも1ヶ月が過ぎようとしています。毎年この時期になると、急に元気が無くなり、学習や課外活動への意欲や関心を失いそうになることがあります。今月は、そんな時に、元気を与えてくれる本として、アメリカの著述家並びに講演家であるジェリー・ミンチントン(日本語訳：弓場隆)の作品「新しい自分に出会う本」を校長のお勧め本として紹介します。この本は、皆さんの持って生まれた能力・可能性(「種」)を発揮し、独創的なアイデアを思いつき、チャンスを生かすために書かれています。素晴らしい人生を送るために、自分の「種」を根気よく念入りに育ててください。高校生活だけではなくその先の人生においてもきっと役に立つと思います。私も何か障害にぶつかった時この本を読み返します。

校長
お勧め!



08年5月

犬と私の10の約束

図書部
お勧め!

著者：川口 晴 出版社：文藝春秋
 どんな時でも犬は黙ってそばにいてくれる。
 犬から飼い主へのメッセージという形で、私たちにして欲しい10の約束が語られている「犬の十戒」が今、世界中でブームを呼んでいます。
 愛犬家ならだれもが共感し、ささやかで切ない犬の願いに涙せずにはいられないでしょう。
 一匹の犬とひとりの少女のかけがえない10年間を描いた感動作です。



08年5月

手紙屋

校長
お勧め!

著者：喜多川 泰
 出版社：ディスカヴァー・トゥエンティワン
 球技大会も終わり、今月は大きな行事も無く、落ち着いた環境の中で、学習面や読書に集中して下さい。今月の校長のお勧め本は、進路に悩む大学生が主人公である喜多川泰の小説「手紙屋」を紹介します。この本は「何のために勉強するんだろう?」という疑問に答える4月のお勧め本「手紙屋(蛍雪編)」の続編です。この本では、大学生の主人公が、就職活動をする中で、働くことの意味を見つめなおし、『ほんとうの就職先』を見つける過程が、手紙屋とのやりとりの中で、とても分かりやすく書かれています。大学生が主人公ですが、高校生に置き換えて読んでも、実感できると思います。高校卒業後は、誰でもその先の人生で就職という局面がやってきます。そういう意味で高校生の時期に「働くことの意味を見つめなおす」ことは、とても大切なことです。しかし、働くことの本当の意味が分からず、また将来の夢を見つけれずに悩んでいる人も多いと思います。そのような皆さんにこの本をお奨めします。



08年6月

アシュリー

図書部
お勧め!

著者：アシュリー・ヘギ
 出版社：フジテレビ出版 / 扶桑社
 「なぜ、ここにいるのか、それはわからない。でも、わたしたちがここにいるのには、何か目的があるはずだと思うの。」早期老化症のアシュリーが、自分のこと、命のこと、家族、親友のことを懸命に語ります。前向きな彼女の姿から、生きることの大切さが伝わってくる一冊です。



08年6月

熱球

図書部
お薦め!

著者：重松 清 出版社：新潮社

「20年前の夏、主人公(38歳)は伝統を誇る県立高校の野球部のエースだった。強いチームとはいえなかったがその夏はどの試合も意表をつくように、あれよあれよと予選を勝ち進んだ。そして明日が決勝戦という夜。考えもつかない悲劇が主人公と仲間たちの夢(甲子園)を断ち切った。決勝戦辞退という現実が、主人公を故郷から遠ざけさせた。東京から娘と共に故郷に戻るようになった主人公は、20年ぶりに懐かしのグラウンドに足を運ぶ。そこには20年もの間それでも見放さずにチームを応援してきた老人の姿があった。」ここからが感動のドラマの始まりです。ジーンときます。読みやすい文体なので朝の読書にお薦めです。

マナー以前の 社会人の基本

校長
お薦め!

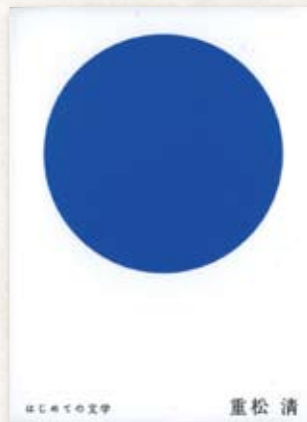
著者：岩下 宣子 出版社：講談社

7月に入りました。期末試験が終わるといよいよ夏休みですね。3年生は就職や進学に向けてサポートする時期です。1、2年生も、次のステップへ向けた大事な時期です。9月になって後悔しないように、規則正しい生活を維持しましょう。今月は夏休みに入ることもあり、校長のお薦め本として2冊紹介します。

先ず1冊目ですが、岩下宣子の著書「マナー以前の社会人の基本」を校長のお薦め本として紹介します。著者は、マナーとは、「相手に対する思いやりの「こころ」を動作や表情、言葉、文字、モノなどの「形」にして、相手に見えるように表現すること」と述べています。この本は、進学・就職の面接時の大切なマナーにも通じる社会に出てからの基本的なマナーがわかりやすく書かれています。皆さんは、高校卒業後社会に出て行きます。社会に出てから慌てないようにその前には是非読んで欲しい一冊です。



08年7月



08年7月

はじめての文学

校長
お薦め!

著者：重松 清 出版社：文藝春秋

2冊目は重松清の著書「はじめての文学・重松清」を紹介します。小説は、長編やシリーズものが多く、長いお話を読み通す根気がなく、少し苦手と思っている皆さんやもともと読書が苦手な皆さんにこの本をお薦めします。この本は、1冊の本の中に8つの短編が入っていて、1篇が40ページ弱で完結します。好きなジャンルや興味を持ったお話だけ読むことも出来ます。この本をきっかけに小説や本を読む楽しさを知って欲しいと思います。

上機嫌の作法

図書部
お薦め!

著者：齋藤 孝 出版社：角川書店

図書部のお薦め本は、齋藤孝の『上機嫌の作法』です。皆さんの周りで不機嫌な顔をする人を時々見かけませんか？齋藤さんはこのような人に対して、「くよくよして、むっとして、無気力でいて、何か新しいものが生まれるでしょうか？私には、不機嫌さは「なんらかの能力が欠如しているのを覆い隠すため」だとしが考えられません」とこの本の中で言い切っています。また、自分を上機嫌にする「技」も本書では紹介されています。分かり易い文章で書かれてあるので、高校生の皆さんにもお薦めです。この本を読むと、明るく元気に生きることの大切さが分かります。



08年7月



08年9月

そんな軽い命なら私に下さい

余命ゼロいのちのメッセージ

校長
お薦め!

著者：渡部 成俊 出版社：大和書房
長い夏休みが終わりました。私は、8月は北京オリンピックを観戦しながら、いろいろな人の生き様を見ました。皆さんはどう感じましたか。今月は、皆さんに「命」「生きることについて」考えるきっかけになればと思い、渡部成俊の著書「そんな軽い命なら私に下さい」余命ゼロいのちのメッセージ」を校長のお薦め本として紹介します。この作品は、癌(がん)で余命宣告を受け、死に直面した著者が、期限付きの自分を見つめたとき、今まで見えなかった、また見逃してきた「人生の中の大切なこと」「やり残したことを」形にしようとしたものです。この作品は、私達に生きる勇気を与えてくれます。本の分量も少なく易しい言葉でとても分かりやすく書かれています。

あきらめない限り、夢は続く

愛工大名電 柴田章吾の挑戦

図書館
お薦め!

著者：田尻 賢誉 出版社：講談社

図書部のお薦め本は、「あきらめない限り、夢は続く」です。副題は、「愛工大名電 柴田章吾の挑戦」。小・中学時代ともに全国大会出場、好投を続けてきた柴田君が、原因不明の難病・パーチェット病を発症したのは中学3年の春でした。この病気にはかなりの食事制限と運動制限が強いられます。そして腹の中が火傷をしたような痛みと高熱。何度もくじけそうになりながらもこの病気と闘ってこられたのもそう、柴田君には「絶対に叶えたい夢」があったから。07年夏の甲子園の舞台裏に咲いた勇気と感動のドキュメントです。現在も、柴田君は次の夢に向かって大学で野球を続けています。最後に柴田君の言葉をひとつ紹介します。「成功の反対はあきらめること」なお、著者は6月12日(金)に來校され、総合学習の時間に講話をしていただきました。



08年9月



08年10月

いい言葉が人生を変える

校長
お薦め!

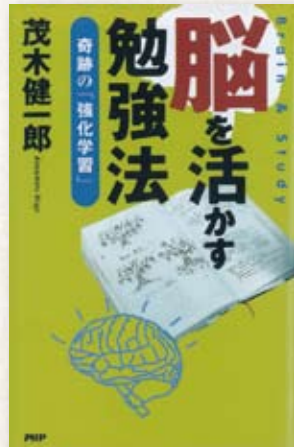
著者：塚本 晃生 出版社：廣済堂出版
読書感想文ご苦労さまでした。読書の季節にもなりましたので、引き続き、興味をもった本から進んで読書するようにしてください。3年生の皆さんは進学・就職が本格化しました。1、2年生の皆さんも知らないうちに進学・就職を考えると知らない時期がやってきます。今月は、皆さんが人生について考えるきっかけになればと思い、世界の賢者50人の「生きがい」のメッセージを集めた塚本晃生の『いい言葉が人生を変える』を校長のお薦め本として紹介します。この本は、「生きる方向性を見失ったり」「挫折感に打ちひしがれたり」「人生に苦悩したり」した時、力強い「こころの助言」として役立つと思います。

脳を活かす勉強法

校長
お薦め!

著者：茂木 健一郎 出版社：PHP研究所

修学旅行、体育祭が終わりました。秋が深まってきたところで、いよいよ読書の季節たけなわです。さて、私は、10月の全校集会の訓話の中で「勉強の大切さ」についてお話ししました。今月は、「勉強の大切さ」は理解できても、いざ勉強しようとしても勉強の仕方が分からないとか勉強はどうも苦手だと言う人に、脳科学者茂木健一郎の著書「脳を活かす勉強法」を校長のお薦め本として紹介します。この本の中でいう「勉強」は学校での勉強のみを指すものではなく、新しい知識を手に入れるという広い意味の「学習」を指します。従って、部活動でのトレーニングなどにも応用できます。本の名前が硬く難しそうに感じますが字も大きく、内容も分かり易く、興味あるものとなっています。この本を読むことで、皆さんは脳の特性を学び、自分の脳と上手に付き合うことで学習そのものを楽しめるようになると思います。



08年11月



08年11月

図書部
お薦め!

えっ? 本当?! 地図に隠れた日本の謎

著者：浅井 建爾 出版社：実業之日本社
八街が市になって以来、富里・印西・白井など次々と新しい市が誕生しています。また、最近では複数の市が合併して新しい市になるという話も珍しくありません。かつて覚えたことが今では役に立たず、勉強のやり直しである、そう思っていた折に見つけた本です。「学校では教えない地理おもしろ講座」の宣伝文句が示すとおり「へえー」の連続で楽しく読める本です。

ひと言の思いやり

校長
お薦め!

著者：金平 敬之助 出版社：PHP研究所
いよいよ今年も後1ヶ月となり、進学・就職、新しい学年が近づいてきます。来年は、アメリカの金融危機の影響で日本も不透明な時代になり、皆さんの周囲も少しきすぎずした状況になる可能性が高いと思われるかもしれません。こういう世の中では、私達は、学校、家庭、友達関係で「一言の大切さ」「一言の思いやり」に今まで以上に気づくことが大切です。今月は、金平敬之助の著者『ひと言の思いやり』を校長のお薦め本として紹介します。この本は著者が、出来るだけ身近で耳にした100の言葉を取り上げています。最初から最後まで読まなくても、関心のある部分を読むだけでも良いと思います。この本を読んで皆さんの人生がより豊かになることを願っています。



08年12月



08年12月

図書部
お薦め!

のぼうの城

著者：和田 竜 出版社：小学館

図書部のお薦め本は「のぼうの城」です。時は戦国時代。豊臣秀吉が、全国を統一する最中、唯一攻め落とせない城があった。それが忍城(おしじょう)。城主(成田長親)は大きい体で頭の冴えないことから、村の人から「でくのぼう」を略して「のぼう様」と呼ばれていた。「様」は申し訳ない程度でつけられたもの。長親は農作業がとてほろこだった。手伝いをしても返って迷惑をかけてしまう。農民たちも彼の善意に文句を言えない。その最中、秀吉から「忍城を落し」の命を受けた石田三成が動く。無謀にも戦に挑んだ長親。「のぼう様に任せておけん、どうなるかわからん」と武士だけでなく村人たちも奮起し何とか戦に耐える。石田三成の軍勢約二万騎に対し、約二千騎の軍。圧倒的に不利ではある。はたしてこの結末はどうかと、早く次が読みたくなる物語です。

生きるのが楽しくなる 15の習慣

校長
お薦め!

著者：日野原 重明 出版社：講談社

明けましておめでとうございます。いよいよ新しい年が始まりました。進学・就職、新しい学年に向けてしっかり準備をして下さい。今月は、新しい年を迎え、新たな夢を抱いている人も多いと思います。そこで、皆さんが楽しく生きていくためのお手伝いができるかも知れない本として、日野原重明の著書『生きるのが楽しくなる15の習慣』を校長のお薦め本として紹介します。この本は、聖路加国際病院にて、97歳を超えて今なお毎日精神的に診療に当たっている著者が、体だけでなく、心の持ち方でも自分の決意次第で変えられるということを15項目の習慣にまとめたものです。著者は、「鳥は飛び方を、動物は走り方を変えられない。しかし、みなさんは明日からでも自分の生き方、つまり生活の習慣を変えることができるのです。」と言っています。皆さんもこの本を読んで、良い習慣を身に付け、元気で楽しい人生を送るための参考にして欲しいと思います。



09年1月



09年1月

奇跡のリンゴ

著者：石川 拓治 出版社：幻冬舎

一年を通じて最も寒い季節です。インフルエンザが流行しています。体調に注意して下さい。三年生はいよいよ後一ヶ月で卒業し、一・二年生は後二ヶ月で進級となります。進学・就職、新しい学年に向けてしっかり準備して下さい。さて、私達は日頃何気なくリンゴを食べていますが、リンゴは収穫までに昆虫、カビ、細菌、ウイルスなど多種多様の生物の攻撃にさらされており、リンゴの栽培にはきめ細かな農薬散布を必要とします。今月は、農薬を使わずにリンゴを育てるといふ「絶対不可能」を覆した農家木村秋則の記録『奇跡のリンゴ』（石川拓治著）を校長のお薦め本として紹介します。この本は、NHKテレビ「プロフェッショナル仕事の流儀」で放送され大反響を呼んだものですが、リンゴの歴史、リンゴの育て方、自然界の摂理、そして「絶対不可能」を覆した農家木村秋則の人生が分かり易く、感動的に書かれています。私は、この本を読んで、農薬散布によって栽培されたリンゴは、薬漬けの無菌状態で栄養剤を補給されている私達の文明人に類似しており、私達も自らの内なる生命力をよみがえらせる必要性を感じました。



09年2月

走れ! T校バスケット部

著者：松崎 洋 出版社：彩雲出版

図書部のお薦め本は松崎洋の著書『走れ! T校バスケット部』です。バスケットの強豪校に入学した陽一。しかし、部内の陰湿ないじめに遭いやむなく転校を決意する。転校先の都立T校はバスケットの弱小校。失意のどん底で2度とバスケットなどしないつもりだった陽一だが、T校バスケット部の輪に入っていった。個人的な部員とそのプレイが本当に漫画的で、彼らを取り囲む人々のキャラクターが放つ圧倒的なパワーが魅力的な物語です。部活でスポーツをしている皆さんでしたら、きっとこの小説の虜になるでしょう!

図書部
お薦め!



09年2月

暮らしうるおう 江戸しぐさ

校長
お薦め!

著者：越川 禮子 出版社：朝日新聞社

いよいよ後一ヶ月で進級となります。新しい学年に向けてしっかり準備をして下さい。さて、私は、今までマナーやルールを守ることの大切さについて、お話しして来ました。今月は、現在の公共マナーに通じる「江戸しぐさ」について書かれた越川禮子著書『暮らしうるおう江戸しぐさ』を校長のお薦め本として紹介します。百万都市江戸は、言葉も習慣も異なる人々が全国から集まった異文化の町でした。当然おこる衝突やトラブルを未然に防ぎ、人々が安心して楽しく暮らせるようにリーダー達は様々な工夫をしました。例えば、人ごみの中の「肩引き」(人とぶつからないようにお互いに肩を引くこと)、雨の日の「傘かしげ」(雨の滴で相手をぬらさないように傘を人のいない方へ傾けること)など、現代にも通じる他人への思いや心が随所に出てきます。挿絵が多くとても大きいので、短時間で楽しく読める内容になっていますので、気楽に読んでみて下さい。皆さんが「江戸の心と感性」に出会えることを願っています。



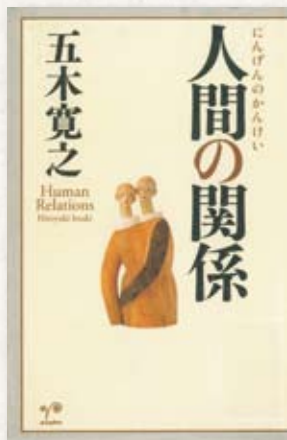
09年3月

トンネル

図書部
お薦め!

著者：ロデリック・ゴードン
著者：ブライアン・ウィリアムズ
出版社：ゴマブックス

図書部のお薦め本はロデリック・ゴードンとブライアン・ウィリアムズの著書『トンネル』です。ハリーポッターの後継本として期待されている本です。閉鎖された地下。暗い、狭い、寂しい、闇の中で繰り広げられる世界で何が起きて、どんな冒険が待っているのでしょうか。主人公のウィルはロンドンに暮らしていた。ある日突然考古学者の父が突然行方不明になった。父を捜索中に、地下にある彼の研究室からトンネルを発見したウィルと友人のチェスター。そのトンネル発見後、謎の男たちがウィルたちをつかまわすようになる。失踪した父を探しに、そして謎の男たちとの関係を解き暴くため、トンネルを通り未知の世界へと冒険が始まる。



09年3月

人間の関係

図書部
お薦め!

著者：五木 寛之 出版社：ポプラ社
図書部のお薦め本『人間の関係』は、『青春の門』や『21世紀仏教への旅』で有名な作家五木寛之氏のエッセイ集です。私たちが生きているこの社会は、政治、経済、世相、世界など全て明日のことがわかりません。〈一寸先は闇〉という格言がこれほど身にしみて感じられる時代はないと筆者が述べるように、日々あらゆるものが劇的に変化しています。そんな変わる時代に、変わらないものとはなにかを作者は問い続けます。それは「人」がこの世に存在したときから脈々と続いてきた「人」と「人」との関係、つまり「人間の関係」です。人を単体としてとらえるのではなく、関係として考える視点から、現代を「生きぬくヒント」が本書には多く触れられています。

心の持ち方

校長
お薦め!

著者：ジェリー・ミンチントン

翻訳：弓場 隆

出版社：ディスカヴァー・トゥエンティワン
新入生のみなさん入学おめでとうございませう。また2年生、3年生のみなさんも新しい年度が始まり、新たな『夢や目標』を持って、スタートラインに立っていることと思います。今月の校長のお薦め本は、人生を豊かにすることを目的として書かれたジェリー・ミンチントン著(弓場隆訳)『心の持ち方』を紹介しつゝ。この本では、自分の人生にポジティブ(肯定的)な変化をもたらしてくれる『心の持ち方』のヒントが書かれています。皆さんは、自分の夢や目標を実現していく中で、いろいろな障害にぶつかると思いますが、そういう時に必ず役に立つと思います。私もこの本を読んで新しい発見をしました。常に手元に置いて、悩んだ時などに読み返しています。



09年4月



09年4月

俺の考え

図書部
お薦め!

著者：本田 宗一郎 出版社：新潮社

本田宗一郎氏は、日本でも世界でも有名な車のメーカーであるホンダの創業者です。この本には、大きな理想を持って生涯を生き抜いた本田氏の魂のこもった言葉がたくさん書かれています。小さな町工場が「世界のホンダ」になったのはなぜでしょうか。その理由はこの本を読めばわかります。そして、この本を読めば、本田氏の情熱がきっと皆さんにも伝わり、皆さん自身も勇気ももらうこと間違いありません。また、本田氏は社員を大切にし、多くの人から愛された経営者としても知られています。一読すれば、その理由もわかります。

全盲先生、

泣いて笑っていっぱい生きる

校長
お薦め!

著者：新井 淑則 出版社：マガジンハウス

毎年この時期になると、急に元気が無くなり、学習や課外活動への意欲や関心を失いそうになることがあります。今月は、そんな時に元気を与えてくれる本として、人生半ばで両目を失明しながら、また、周囲の人達に助けられながら、再び中学校教師に復帰された新井淑則先生の作品『全盲先生、泣いて笑っていっぱい生きる』を紹介しつゝ。この本は、新井先生が絶望の淵から奇跡の復活を果たすまでの道のりが分かり易く書かれており、その中で視覚障害者の気持ち、盲導犬との関わり、世界十五カ国の旅を通じた視覚障害者に対する各国の国民性の違い、周囲の人達のおもいやりなど、健常者として考えさせられる話が多く出てきます。



09年5月



09年5月

凜とした女の子に おなりなさい

図書館
お薦め!

著者：阿久 悠 出版社：暮らしの手帖社

阿久悠氏は、皆さんもよくご存知、たくさん
のヒット曲を作詞し、その数5000曲以
上、その作詞により5回もレコード対象
を受賞した作詞家です。小説も書き、直木賞
候補作の「瀬戸内少年野球団」は映画化さ
れました。生前、阿久悠氏は日本の「叱る文
化」衰退を憂っていました。本中の、阿久悠
傑作選1は“日本人らしい人”を詩やエッ
セーが9つ、傑作選2は、“友達のような”が
失敗だった」というタイトルがついていま
す。わずか79ページから成る本ですが、言
葉に命を削った職業人なだけに、どの文も
無駄がなく心に染み込めます。そして
自分を振り返らせてくれる本です。“日本
人らしい人”の中の詩「凜とした女の子に
おなりなさい」は今の時代を読んだ、とて
も素敵な詩です。

日本一短い手紙

校長
お薦め!

編著：福井県坂井市（財）丸岡町文化振興事業団
出版社：中央経済社

この季節は梅雨の時期であり好きでない
という人が多いかもしれませんが、心静かに読書
したり、将来のことをじっくり考えるには良い
季節だと私は思います。今月は、希望を抱かせ、
明日に向かって歩ませてくれる「夢」をテーマ
にし、自分、家族、友達にあてた40字以内の手紙
を集めた（財）丸岡町文化振興事業団編集「日本
一短い手紙「夢」一筆啓上賞」を紹介します。こ
の本は、平成20年度の第6回新一筆啓上賞「日
本一短い手紙 夢」に応募のあった約6万通の
中に入賞作品・最終候補作品をもとに編集し
たものです。私は、皆さんにいつも人生におい
て『夢や情熱』を持ち続けることがとても大切
だと言っていますが、この本で紹介されている
「夢」はとても参考になると思います。



09年6月

あとがき



千葉黎明高等学校 校長
天野 隆司

私は、本校に着任し3年目となりますが、『校長のお薦め本』は、前任の
安川校長が始められ、今年で5年目となります。生徒に読書の大切さ
を知ってもらうきっかけを提供することを目的に続けてきました。高
校生向けの本を毎月選ぶことは、幾分骨の折れることではありますが、
反面私の読書量も増加し、楽しみも増えました。今回発刊に至った『黎
明がお薦めする50冊』は私と図書館の先生方で毎月選んだ50冊の本を
まとめたものです。

ところで、なぜ読書が大切なのでしょう。その理由は、私は二つ
あると考えます。

一つ目は、読書することによって、考える力、コミュニケーション
する力、集中力が身に付くということです。人間が何かを考える時は、
必ず言葉を使って考えます。従って、知っている言葉が少なかったり、
言葉の正確な意味を知らなかったりすると、考えることや正確なコミュ
ニケーションが出来なくなってしまいます。ある言葉に出会い、それが
文章の中でどのように使われているかを見るチャンスが多ければ多い
ほど、その言葉を知り理解し使えるようになります。植物の成長には
光と水が必要であり、また人間の体の成長には栄養が必要であるよう
に、人間の心や精神の成長にも栄養が必要です。それが、読書です。
人間は言葉を浴びて成長します。

二つ目は、色々な経験ができるということです。人間が成長する時、
人との出会いや経験がとても重要です。しかし、実際に経験する機会
は限られていますので、読書を通じた経験は非常に重要です。読書を通
じて、自宅や学校に居ながらにして、ある時は自由に空間を移動し、
日本だけでなく海外まで旅行できますし、ある時は、過去や未来にタイム
スリップできます。また、ある時は本の主人公となることである
ような職業体験や様々な人との出会いもできます。私は、山岡荘八と
いう作家の書いた『徳川家康』という小説が好きですが、この小説は、
私を戦国時代に連れて行き、戦国武将である織田信長、豊臣秀吉、徳川
家康との出会いをつくりそれぞれの人生の生き方を学ばせてくれました。
忙しい一日の中で僅かでも良いと思います。是非読書の時間を見つけて
いただきたいと思います。

最後にこの冊子をご覧になられた方に読書の大切さや楽しさを再発
見するきっかけを提供できましたら幸甚に存じます。

以上

沿革

- 1923年 実業学校令により、乙種農業学校として財団法人八街農林学園創立の認可を受ける
(大正12年)
- 1924年 日本で最初のスクールバンドが編成される 生徒館(講堂)竣工
- 1925年 高橋是清来校
- 1926年 高橋是清来校
- 1975年 創立者 西村繁先生銅像建立
- 1985年 創立者西村繁先生銅像建立10周年記念式典実施
- 1993年 学校創立70周年
- 1994年 西村繁先生生誕百周年
- 1995年 八街学園高等学校を千葉黎明高等学校に校名変更
学校創立70周年記念式典実施 学校創立70周年記念誌発行
- 1996年 学校法人八街学園を学校法人千葉黎明学園に変更
- 2003年 学校創立80周年記念式典実施
創立80周年記念 人工芝多目的グラウンド『Turf Court』竣工
大正13年竣工の生徒館改修完了
教職員校外留学制度開始
- 2004年 全天候型ランニングロード竣工
野球場ブルベン竣工
黎明共済制度開始 (新入生徒全員に黎明高校独自の共済保険制度導入)
- 2006年 特別進学クラスを特別進学コースに変更
教室棟1階女子トイレ改修し更衣室と給湯設備、温水設備のトイレを設置(レディースルーム)
南門(旧正門)を改修
- 2008年 「栄光の軌跡」石碑竣工 野球部・男女ソフトテニス部部室新築
西村は一奨学育英基金設立

編集後記

この冊子で紹介されている「あきらめない限り、夢は続く」の柴田章吾さんが2009年6月12日(金)に来校されました。そこで、私は柴田さんの体験談を聞く事ができました。柴田さんは、中学3年時にパーチェット病という病気にかかり、その後も夢を諦めず野球を続けた結果、甲子園のマウンドに立つという夢を叶えることができました。現在も彼は明治大学の野球部で野球を続けています。体験談の中で「難があってもありがとう」という言葉がとても印象に残り、「ありがとう」という言葉の大切さを改めて感じました。この本が、私の一番のお薦め本です。みなさんも50冊の中からお気に入りを探してみてください。また、この冊子を発行することで1冊でも多く「この本を読みたい」とみなさんが思っていたければ幸せに思います。

最後に「黎明がお薦めする50冊」を発行するにあたり、多くの方々のご協力をいただき、ありがとうございました。

千葉黎明高等学校 主事 白根 真人

黎明がお薦めする50冊(非売品)

平成21年9月30日 発行

編集 千葉黎明高等学校「黎明がお薦めする50冊」編集委員会

校長 天野隆司

図書部 (50音順)

市成直広 大木正美

菊池功二 北益嘉

小林明矢 中野茂子

野瀬千鶴子 野原正章

連佛義信 遊佐誠一

事務部 白根真人

発行 学校法人 千葉黎明高等学校

理事長 西村 清

印刷 アークランド株式会社